

びわ湖トラスト親子環境学習講座

～megumiに乗船A・B～ 報告書



認定NPO法人 びわ湖トラスト

後援： 大津市教育委員会

助成： 公益財団法人平和堂財団

目的： 琵琶湖及びその周辺で、親子で環境学習を行い、直接触れることで、参加者に琵琶湖への環境について興味を持つ機会を設け、保全につなげる。

		megumiA	megumiB
実施日		7月24日(水)	8月21日(水)
参加者		8組(17名) 子ども：8名、保護者9名	10組 子ども：10名、保護者10名
講師		滋賀県琵琶湖環境科学研究センター (工学博士) 一瀬 諭氏	
スタッフ	平和堂財団	1名	—
	びわ湖トラスト	理事	3名
		事務局	1名
	ボランティア	4名	5名
行程		9:15 受付開始 9:40 乗船開始 9:50 大津港 出港(白鬚神社・沖の白石経由) オリエンテーション プランクトン講義 顕微鏡でプランクトン観察(南湖) 11:45 ランチ(船内) 12:30 沖島 上陸 プランクトン採取・体験 島内自由散策 14:00 沖島 出港 顕微鏡でプランクトン観察(北湖) スケッチ・アンケート 16:00 大津港 帰港 下船 解散	

今年度も前年度と同じ行程にし、定員はABともに10組20名としたが、Aは2組のキャンセルがあり、8組17名、Bは10組20名の参加となった。ABともに受付はスムーズに進み、乗船前の大津港にて南湖のプランクトン採取を行い、参加者も採取を見学した。

Aでは、Jr.ドクター育成塾4期生の田原君が先生のお手伝い。乗船後親子環境学習上の注意事項やトラストの紹介、船の構造の説明、参加スタッフの紹介をし、この親子環境学習講座のスポンサー公益財団法人平和堂財団事務局長様に御挨拶いただいた。

未来ある子どもたちのために親子環境学習講座をご支援くださり、megumiでも参加者と一緒に顕微鏡観察をしてくださった。



講師は、びわ湖トラスト理事でもある一瀬諭先生。先生は、滋賀県琵琶湖環境科学センターで40年以上琵琶湖のプランクトンについて調査研究され、今年、セルビアの現地小学生から大学生、先生方への講義、中国では、国際シンポジウムに出席されている。



ABともに先生の講義は、参加者の小学生にも分かりやすくプランクトンとは何か。から始まり、プランクトンの生活史、食物連鎖、生物多性、ミジンコについてなどたくさん話をしてくださった。講義の内容は、毎年違うので、スタッフも勉強になる。

次に大津港で採取した南湖のプランクトンを先生の顕微鏡からモニターで観察し、見つけたプランクトンをプランクトン図表にマーカーでマルを付け、名前を書いていく。「1人では無理なので、親子で協力してくださいよ〜。頑張った人には、優秀賞がありますよ〜。」と先生からお声がかかると、参加者のやる気が増し、みんなの手が上がった。ボランティアやスタッフも協力してホワイトボードの図表にマルを付け名前を貼って行く。その後、参加者も顕微鏡を使い、南湖のプランクトンを観察した。ここでも顕微鏡の合わせ方、プランクトンの名前など分からないことがあればどんどん手が上がった。



途中、琵琶湖大橋の下、白髭神社、沖の白石に近づいた時には、講義を中断して景色を楽しんだ。今年は、何か工事をされていたが、湖から見る白髭神社は、とても素敵だった。

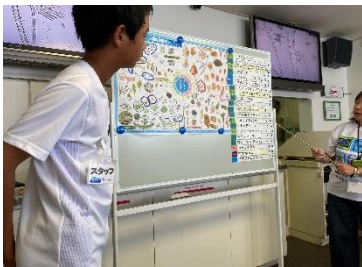
午前の講義を終え、船内にて個々に昼食を済ませ沖島に上陸。

まずは、湖岸に行き沖島、北湖のプランクトン採取の見学、体験。プランクトンネット NXXX25 を用いてバケツ 40 リットル（5リットル×8）の水を 40 ミリリットルに濃縮する。今度は、Jr ドクター育成塾 5 期生の高橋くんがお手伝い。

その後、島内を自由探索。神社に行く、栈橋付近で過ごす、漁港会館で過ごすなど出港までの時間を楽しんだ。今年は、昨年よりも更に暑く、アイスクリームを食べている人が多かった。



船に戻り午後からの講義。沖島で採取した北湖のプランクトンを先生の顕微鏡からモニターで観察。図表に南湖とは違う色のマーカーでマルをつける。

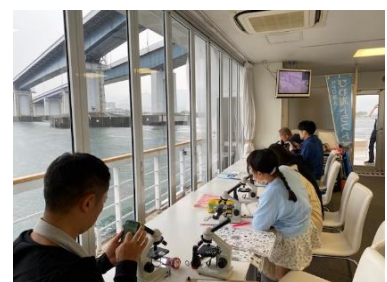


南湖と同じ時間観察して、種類や数を比べる。先生の「これは、何ですか」の声に南湖の時よりも手を挙げる子どもたちが増えた。

次に参加者みんなで北湖のサンプルの顕微鏡観察。プランクトンの名前など分からない事は、一瀬先生、今井理事、Jr ドクターボランティア、スタッフが答えアドバイスした。スケッチする時間もありそれぞれが顕微鏡で見たプランクトンをスケッチした。

A では南湖では 21 種 北湖では 24 種のプランクトンに出会えた。

B では南湖では種 24 北湖では 25 種のプランクトンに出会えた。



猛暑の中、熱中症になることもなく、事故やけがもなく、参加者、スタッフみんなが充実した楽しい一日を過ごすことができた。

一瀬先生が参加者へ質問されると最初は、なかなか手を挙げられなかった子どもたちがどんどん積極的に手を挙げる様になり質問もするようになった。

Aでは締めくくりに、今井理事の挨拶。

ボランティアスタッフ：Jr ドクター1 期生 君付さん（大学2年生）、4期生 田原くん（中学3年生）、5期生 高橋くん（中学2年生）。

Bの締めくくりに、川井理事の挨拶。

ボランティアスタッフ：Jr ドクター4期生 田原くん（中学3年生）、5期生 高橋くん（中学2年生）、7期生 堀田くん（中学1年生）。

ボランティア協力してくれ、スタッフとして、とても心強く助かった。

ABともに、今日一番頑張って質問していた参加者に一瀬先生から素敵なプレゼントが渡された。一番ではなかったが、頑張っていたみんなにもちよっぴりプレゼントが渡された。

この親子環境学習のことを一人でも多くの参加者が夏休みの楽しい思い出とし、自由研究へと結び付けてほしい。



ボランティア参加者からの感想文

親子環境講座のサポーターとして参加し、非常に貴重な体験をえることができました。琵琶湖の水を採取し、プランクトンの生息状況や北湖と南湖の違いを比較する調査を行ったことは、深い印象を残しました。一瀬先生のご指導のもと、琵琶湖特有生物やその特徴について新たに学び、プランクトンの世界に魅了されました。

さらに、参加していたお子さんや保護者の方々が一緒になってプランクトンを探したり、先生に質問したりする積極的な姿が見られ、充実した時間を過ごせたと感じています。

Jr ドクター1 期生 君付さん（大学2年生）

【A】 2024年7月24日(水)



【B】2024年8月21日(水)

